平成29年６月27日

平成29年第２回神奈川県議会定例会

総務政策常任委員会報告資料

政策局・総務局

目　　次

ページ

「かながわグランドデザイン　評価報告書2016」について ····· 1

参考資料１　かながわグランドデザイン 評価報告書2016

参考資料２　かながわグランドデザイン 評価報告書2016（概要版）

「かながわグランドデザイン　評価報告書2016」について

(1)　趣旨

平成27年７月に策定した「かながわグランドデザイン　第２期実施計画」に係る取組状況について政策評価を行い、政策運営の改善に資するとともに、その評価結果について県民との情報共有を図るため、「かながわグランドデザイン　評価報告書2016」を作成する。

(2)　経過

- 平成27年11月26日開催の総合計画審議会で、「かながわグランドデザイン」の進行管理のあり方について審議し、これに基づき、平成28年６月に「かながわグランドデザイン　評価報告書2015」をとりまとめた。
- さらに、平成29年６月７日開催の総合計画審議会で、平成28年度の評価結果について整理した「かながわグランドデザイン　評価報告書2016」を審議、了承された。

(3)　特徴

- 県の重点施策を分野横断的にまとめた23のプロジェクトについて、県の事業部局による一次評価を行い、その一次評価に対して、総合計画審議会が第三者の立場から二次評価を行った。
- 各プロジェクトのねらいがどの程度達成されているかを数値目標の達成状況、事業の取組状況、県民ニーズの動向、その他社会環境を表す指標等から総合的に分析した。
- 県民に分かりやすく示すため、「順調」「概ね順調」「やや遅れている」「遅れている」の４つの区分により、評価結果を示すとともに、今後対応が求められる課題や改善を図るべき事項について整理した。

(4)　プロジェクトの評価結果（二次評価）

23のプロジェクトのうち、プロジェクト全体の進捗状況が「順調」は４、「概ね順調」は17、「やや遅れている」は２、「遅れている」は０であった。

評価の区分	該当 プロジェクト数	（参考） 2015年度の状況
プロジェクト全体の進捗状況が順調	4	4
プロジェクト全体の進捗状況が概ね順調	17	19
プロジェクト全体の進捗状況がやや遅れている	2	0
プロジェクト全体の進捗状況が遅れている	0	0

(5)　公表

- 平成29年７月６日から評価報告書の内容を公表、翌７日から県民の意見を募集し、寄せられた意見等を計画推進の参考にする。
- 評価報告書本体は、県のホームページで公表し、併せてホームページを利用できない方のために、報告書冊子を県政情報センターや地域県政情報コーナーで閲覧できるようにする。
- 評価報告書の概要版として、プロジェクト全体の評価や主な取組みなどを掲載したパンフレットを作成し、県政情報センターやコンビニエンスストアなどで配布する。

【参考】総合計画審議会の評価結果一覧　＜「参考資料１、２」参照＞

柱	プロジェクト名		総合計画審議会による二次評価
Ⅰ 健康長寿	1	未病	やや遅れています 「未病センター」の設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数は数値目標を上回っていますが、健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている人の割合は横ばいであり、また、健康に関する県民ニーズ調査の結果も低下するなど、健康への意識が高くない県民への周知等が十分とは認められないことなどから、「やや遅れている」と評価します。 ・　健康に対する関心が高くない方々を中心に、未病改善によって得られる効果を分かりやすく示すなど、未病の考え方の県民への一層の周知を図る必要があります。 ・　未病改善の取組みは積極的に進められていますが、先駆的な取組みであり、また、プロジェクトのねらいの実現には一定の期間を要するため、定期的に成果を分析し、より効果的な取組みを検討する必要があります。
	2	医療	概ね順調に進んでいます マイＭＥ-ＢＹＯカルテの利用者数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・　マイＭＥ-ＢＹＯカルテなど新たなヘルスケアシステムの構築を進めるに当たっては、重点的なターゲットを設定し、効果的に取組みを進めていく必要があります。 ・　最先端医療の普及促進が県民の医療環境の向上や健康増進に寄与することを、県民に分かりやすく示す必要があります。
	3	高齢者福祉	概ね順調に進んでいます 「コグニサイズ」などをテーマとした教室やイベントの参加者数が順調に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・　ライフスタイルや健康状態など、現在の高齢者の状況を的確に把握し、効果的な取組みを検討していくことが必要です。 ・　高齢者の健康・生きがいづくりにとどまらず、高齢者の社会参加の促進についてより一層の取組みが必要です。 ・　県民が認知症に関する情報にアクセスしやすい環境の整備を促進していく必要があります。
	4	障がい者福祉	概ね順調に進んでいます 福祉サービスの充実や障がい者に対する理解促進や権利擁護のための研修を行うなど、障がい者の地域生活を支える取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・　地域社会において、障がい者に対する理解促進のための取組みを一層進めるとともに、障がいのある人もない人もともに参加し活動できる場を増やしていく必要があります。 ・　福祉サービスの充実や人材確保の取組みについて、その成果を検証し、より効果的な取組みを検討していく必要があります。 ・　福祉サービス従事者をサポートするためのしくみを充実していく必要があります。

柱	プロジェクト名		総合計画審議会による二次評価
Ⅱ 経済のエンジン	5	エネルギー	概ね順調に進んでいます 再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 再生可能エネルギーなどの普及促進や省エネに対する県民意識の向上につながる取組みをさらに進めていく必要があります。
	6	産業創出	概ね順調に進んでいます ロボット実証実験件数は目標を大きく上回っており、ライフイノベーションセンターの供用開始や生活支援ロボットの商品化が進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ ロボットの実用化・普及のため、大手企業と中小企業のビジネスマッチングに取り組んでいく必要があります。 ・ 中小企業が求める人材の確保支援に取り組んでいく必要があります。
	7	海外展開	概ね順調に進んでいます ２つの数値目標はいずれも達成していますが、民間企業との協定や海外機関などとの覚書締結などこれまでの取組みによる本県への具体的な成果が十分に現れていないことから、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 中小企業の海外展開支援の取組みについては、目に見える本県への具体的な成果が現れていないことから引き続きしっかりと取り組んでいく必要があります。 ・ 中小企業の海外展開支援について、相手国の需要等を踏まえたうえで、進出を検討している企業のニーズを十分に把握し、海外展開に伴う課題が解消されるよう取り組む必要があります。
	8	観光	概ね順調に進んでいます 国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進められ、県民ニーズの動向も県が魅力的であると考える割合が高いことなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 神奈川の豊かな自然環境を生かした周遊型・体験型ツアーの企画・商品化などにより、地域を訪れる観光客の宿泊も見込める取組みを強化していく必要があります。 ・ 外国人観光客の受入対策として、民泊の活用について検討していく必要があります。
	9	マグカル	概ね順調に進んでいます 神奈川県民ホール（本館、神奈川芸術劇場）及び県立音楽堂の利用者数は着実に増加しているものの、マグカルの全県展開に向けて一層取り組む必要があることから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ マグカルの全県展開に向け、市町村と連携し、地域間で展開に大きな差が生まれないよう、取組みをさらに推進する必要があります。
	10	農林水産	概ね順調に進んでいます 消費者や実需者のニーズに対応した販売契約の促進を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 地産地消の推進のため、県産農林水産物に対する県民の認知度向上に向けた取組みをより一層進めていく必要があります。 ・ 農業等への企業参入の促進の取組みをより一層進めていく必要があります。

柱	プロジェクト名		総合計画審議会による二次評価
Ⅲ 安全・安心	11	減災	順調に進んでいます 訓練を通じて、自助・共助・公助の連携強化が図られたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・ 地域における災害対応力の強化のため、身近な住民同士のつながりを一層強めていく必要があります。 ・ 外国人観光客を含む来県者のため、災害時の避難誘導等について取り組む必要があります。
	12	治安	順調に進んでいます 刑法犯認知件数や交通事故件数が着実に減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・ 体感治安の改善に向けて、不安感の解消につながる様々な取組みを進めていく必要があります。
Ⅳ ひとのチカラ	13	男女 共同参画	概ね順調に進んでいます 労働力調査における 25～44 歳の女性の就業率は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 女性の活躍を促進するためには、教育という側面からの取組みをさらに進める必要があります。 ・ 男女を問わず、働きながら育児などをしている人々を支援するような環境づくりに、一層取り組んでいく必要があります。 ・ 男女が共に生き生きと働ける環境づくりに向けて、実効性のある働き方改革に、一層取り組んでいく必要があります。
	14	子ども・ 青少年	概ね順調に進んでいます 地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職者数は着実に増加し、保育所等利用待機児童数も減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 子ども・青少年施策について、幅広く課題を検討し、長期的な視点に立って取り組む必要があります。 ・ 子ども・青少年にかかわる機関同士の情報共有など、横の連携をより強化する必要があります。 ・ 総合的な子どもの貧困対策に、一層取り組む必要があります。
	15	教育	概ね順調に進んでいます 一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 「一人ひとりの生きる力」を育むため、子どもたちが自ら学び、考え、行動する力や社会とかかわっていく力を身につけるための取組みをさらに進める必要があります。 ・ 言語活動・理数教育の充実や小学校における英語の教科化など、今後増加する教員の負担を軽減する必要があります。 ・ 教員や生徒の語学力の向上を図るとともに、国際社会を経験したグローバルな人材の育成に、より一層取り組む必要があります。
	16	スポーツ	順調に進んでいます 県内総合型地域スポーツクラブの総会員数が着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・ まちの中で運動やスポーツに気軽に取り組める環境づくりを進める必要があります。 ・ 豊かな自然環境を生かした運動やスポーツの推進にも取り組む必要があります。

柱	プロジェクト名		総合計画審議会による二次評価
Ⅳ ひとのチカラ	17	雇用	概ね順調に進んでいます 職業能力開発や就職支援講座による就業支援を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 外国人人材の活用について、特区を有効に活用することなどにより、人材の養成と確保に積極的に取り組む必要があります。 ・ 若年者、中高年齢者、障がい者などの就業支援をより一層進めるため、中小企業をはじめとした県内企業との連携を深めていく必要があります。
Ⅴ まちづくり	18	地域活性化	概ね順調に進んでいます 未病いやしの里の駅の登録施設数が目標を上回り、着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 未病による地域活性化の取組みについては、観光資源の創出だけでなく、未病の改善が実感できる地域の魅力の発信について、さらに取り組む必要があります。 ・ 地域活性化のためには、観光振興だけでなく、地域での生活の魅力を高めていく必要があります。
	19	多文化共生	順調に進んでいます 災害時通訳ボランティアの登録者数は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・ 留学生が神奈川に残りたいと思えるような魅力的な活躍の場や、留学生の力を最大限に生かせるような環境づくりに一層取り組む必要があります。 ・ 外国人労働者の一層の増加が予測される中で、これまで以上に、多文化理解の促進や多文化共生の地域社会づくりに取り組む必要があります。
	20	協働連携	概ね順調に進んでいます 多様な主体による協働の重要性を理解する方が着実に増えてきていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 地域課題の解決に向けて活動しているＮＰＯをはじめとした多様な主体とのさらなる連携や、それらへの効果的な支援方法について検討していく必要があります。 ・ 多様な主体による協働連携型社会の実現に向けて、アクティブなシニア層や地域貢献を望んでいる人が参加しやすい環境づくりに取り組む必要があります。
	21	自然	やや遅れています 「小網代の森の年間利用者数」が前年度から減少して達成率が著しく低いこと、「水源の森林エリア内の私有林で適切に管理されている森林の面積の割合」が目標を達成しなかったこと、「里地里山の保全活動に取り組んだ人数」は目標を達成しているものの前年度に比べ人数が減少していることなどから、「やや遅れている」と評価します。 ・ 数値目標の達成状況に鑑み、これまでの取組みの効果を検証したうえで、プロジェクトのねらいの実現に向けてしっかりと取り組んでいく必要があります。 ・ 首都圏で唯一と言われる森林から湿地、干潟及び海までが連続して残された貴重な自然環境である「小網代の森」について、環境学習の場としての活用に一層取り組んでいく必要があります。

柱	プロジェクト名		総合計画審議会による二次評価
Vまちづくり	22	環境	概ね順調に進んでいます 粒子状物質を排出する旧式ディーゼル車の運行規制の徹底やエコドライブの普及啓発を実施するなど、大気環境保全の取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 地球温暖化対策や資源循環への取組みについて、家庭部門への継続的な意識啓発を進めていく必要があります。
	23	都市基盤	概ね順調に進んでいます 道路・鉄道網の整備が着実に進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ 景観や歴史文化などの地域の特色を生かしたまちづくりを引き続き推進し、神奈川らしい県土づくりに取り組む必要があります。